

6月松本市議会は、画期的な成果を勝ち取りました。

- ◎介護保険制度の改善を求める請願の意見書可決(地区社保協)
- ◎「健康保険証」の継続を求める意見書可決(議員提案)
- ◎加齢性難聴者への補聴器購入費に対する公的助成制度創設を求める陳情書委員会可決(年金者組合・生活と権利を守る会提出)

粘り強い運動と世論を広げて実現できました。

◎介護保険制度改善を求める請願

採択 実現までのドキュメント

12月定例会では、賛成14名、反対16名で不採択(議長は賛成の立場)1人が賛成に回っていたら採択できた。今回選挙もあり、議員交代もあったので再度6月議会にも提出することにしました。

6月8日すべての会派に、請願書をもち紹介議員をお願いした。(公明党・保守的会派含め無所属も)

6月9日一部変更(部屋代の追加項目)すれば賛成。

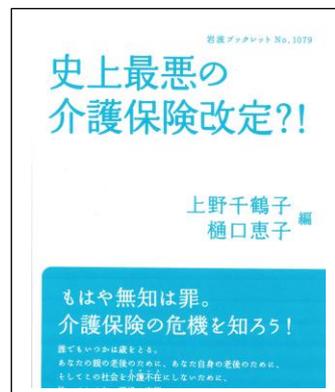
6月12日再度会派回り、開明、政友会、まつも都、共産党の各会派の代表が紹介議員になった。ただちに請願書を議会事務局に提出しました。

6月23日厚生委員会で審議されました。横内委員長以外7名の委員のうち公明党の上條議員が反対討論をしましたが、それ以外すべての議員が賛成し1対6で委員会は可決されました。賛成した委員により意見書が作成され、本会議に提出されるとことになりました。

6月30日午後、本会議開催(閉会日)厚生委員会委員による議案提案となり、なんと前回反対した厚生委員会副委員長の土屋議員が意見書の提案を行いました。本会議開催10分前公明党の上條議員が反対討論を行うという情報が入り、急遽共産党の宗田議員が賛成討論を行うことにし、たまたま居合わせた塩原社保協事務局長とも打ち合わせし、りっぱな賛成討論を行い、結果採決の結果、公明党の4名以外、当日出席していた25名が賛成し、国への意見書を提出する運びとなりました。公明党の上條議員の反対討論は、介護職員の給与を全国産業平均水準に引き上げると年間1兆5千億円以上かかり、介護保険料の引き上げにもつながる。だから反対だということでした。それに対して宗田議員は今でさえ介護職員は集まらずこのままでは介護が必要になったとき介護サービスが受けられない介護崩壊が進んでしまう。

なお、県社保協より提出されていた介護保険改善を求める陳情書の趣旨説明に6月9日朝日村議会出向きました。全員一致で採択されました。6月議会では麻績村、筑北村でも採択されました。

松本市議会厚生委員会の請願趣旨説明で紹介した岩波ブックレットです。上野千鶴子氏・樋口恵子編による「史上最悪の介護保険改定?!」という昨年来の介護関係者の闘いの記録です。6月中旬に松本勤労者福祉センターで上野千鶴子氏の講演会が開催されており、介護保険制度を守るために長野から政治を変えてくださいと訴えていました。引き続き、闘いが求められます。



◎加齢性難聴者への補聴器購入費に対する公的助成制度創設を求める陳情書 可決

6月23日の厚生委員会では年金者組合と生活と健康を守る会から共同提案された陳情書の審議も行われ、何度も提出されていた「陳情書」について今回は賛成多数で可決されました。いよいよ補助の実現に向けて、地区社保協としてもさらに運動を盛り上げ実現していきたいです。なお、宗田議員は本会議でも補助の実現に向けての質問をしています。

最近では、大町市・下諏訪町が加齢性難聴者への補助制度を実現しています。



画期的な出来事です!!!

いま、大問題になっている
「健康保険証」の継続を求
める意見書が議員提案で
可決されました。

地元市民タイムス、信濃毎日新聞、しんぶん
赤旗でも大きく紹介されています。

しんぶん 赤 旗 2023年7月3日(月曜日) 【総合】 (10)

現行保険証「存続を」

長野 松本市議会、意見書を採択

政府が来年秋に現行の健康保険証を廃止してマイナンバーカードに一本化しようとしている問題で、長野県松本市議会(定員31人)は6月29日、国に「健康保険証」の継続を求める意見書を賛成多数で可決しました。日本共産党市議など有志5人が提出したものです。

共産党などが提出

意見書は、マイナンバーカードをめぐるトラブルが続出しており、健康保険証を廃止すれば窓口で10割負担を求められたり、別人の医療情報に基づいた診断や薬の処方されたりする危険があると指摘。意たまりや認知症、障がい者など十分な対応ができずに必要な医療を受けられなくなる恐れがあるとし、「誰もが安心して医療を受けられる『国民皆保険』の土台を揺るがす重大な問題」と強調しています。

起立採決には議長を除く29人が参加。立憲民主党市議が提案説明し、過半数が賛成。反対したのは公明党4人と、人の保守系議員。

大岡明美党市議団長は「世論が押していると感じています。引き続き紙の保険証存続に力を尽くしたい」と話しました。

松本地区社会保険推進協議会は、「画期的な意見書」が採択されたこと喜びを述べています。

来年秋に現行の健康保険証を廃止しマイナンバーカードに1本化する政府の方針に対し、現行保険証の使用継続を求める議員提案の意見書を起立採決の結果、議長を除く出席議員29名中、公明党4名、保守系会派から3名が反対(7名) 賛成は22名の圧倒的多数で可決採択され、現行保険証の継続を求める意見書は直ちに国に送付されました。

提案の中心になった共産党の議員団は、今回の教訓について「一般質問でマイナ保険証の問題点について明らかにし、国への意見書提出にあたり、全会派に賛同を求めてきました。保守派の議員のひとり、共産党の会派室に訪れ賛成することを表明してくれました。垣根をつくらず、賛同してくれる議員を増やしていくことは、市民の切実な要求を実現していくことにつながった。」と述べています。



2023年6月25日 全国保険医新聞 第2529号 41

いつでもどこでもだれでも
安心して医療を
受けられるように...

保険証廃止は ありえない!

マイナ保険証は
トラブルだらけ!!

なのに...

政府は来年秋に
保険証を廃止するため
国会で「保険証廃止法案」を
可決成立させました。

保険証廃止法案に

反対	賛成
<ul style="list-style-type: none"> 立憲民主党 日本共産党 	<ul style="list-style-type: none"> れいわ新選組 社民党 自民党 公明党 日本維新の会 国民民主党

Web署名にご協力を
保険証の廃止は中止!声をあげよう

全国保険医団体連合会

引き続き、国会でも閉会中審査でこの問題が議論されます。

いま全国各地で、マイナンバーカードの返却、取り消しなどが多発しています。引き続き、に取り組みましょう。マイナンバー制度反対連絡会の署名を取組みましょう。

松本市、短期保険証交付「ゼロ」へこれも画期的です!!

松本市は、本年8月更新予定の国保証を加入者全員同じ「満期証」として交付する方針。これは、昨年末の社保協との懇談の際「国保税担当課長」が発言した内容を実行することになった。これで、松本市は短期保険証交付が「ゼロ」になり、画期的成果となりました。

松本地区社保協は 5月27日に定期総会開催

2023年度方針と新役員体制を確認しました。来年3月には、松本市長選挙が予定されています。社会保障前進のために引き続き、多くの団体市民とともに、要求実現、社会保障前進のために頑張っていく決意です。